

平成 28 年度 財団せせらぎ 助成金使用報告書

所属	専修大学大学院文学研究	職名	博士後期課程歴史学専攻	助成金額	20 万円
氏名	長坂 早緒梨	印 メール アドレス	nagasaka.saori@gmail.com		
研究課題（申請書に記入した内容を記入すること。）					
「ドンフロン地域におけるシュアヌリの動きとその特徴—フランス革命期及び帝政期を通して—」					
助成金使用実績の概要（日本語で記入すること。図・グラフ等の記載は必須ではない。）					
<p>① フランス・ノルマンディー、オルヌ県文書館（アランソン）での史料収集 期間：2017 年 10 月 11 日～14 日（一回目） ドンフロン地域におけるシュアヌリの動きを確認するために、オルヌ県文書館でシュアヌリ関連史料の調査・収集を行った。収集した一次史料として、反革命容疑で逮捕された蜂起衆（シュアン）の尋問調書、蜂起衆の活動拠点であった森林地帯での犯罪報告などである。</p> <p>期間：2017 年 11 月 22 日～25 日（二回目） 一回目の調査に引き続き、尋問調書の収集、森林地帯での犯罪報告の収集を行なった。さらに蜂起衆の経済状況を確認するために課税台帳を調査した。またオルヌ県文書館に保管されている論文雑誌 <i>Le pays bas Normand</i> に掲載されているシュアヌリ関連の論文の収集も行った。</p> <p>② フレール市視察 ドンフロンにおけるシュアヌリの舞台の一つであるフレール市を視察した。フレール市内にあるフレール城ではシュアヌリにまつわる展示を行っていた。 期間：2017 年 11 月 23 日</p> <p>③ 関連書籍購入 日本国内では入手不可能な論文や書籍（シュアヌリ関連）を留学中に複数購入した。</p>					
研究成果					
<p>今回の留学中に収集した関連史料などをもとに帰国後は博士論文の執筆を進めていく。これらの史料をもとに、未だに研究が深められていないノルマンディー・ドンフロンにおけるシュアヌリ運動の原因と成果を明らかにしていく。本研究は、「反革命的」と呼ばれたシュアヌリ運動が貴族層に指揮されたものでもなければ反革命を目指したものでもなく、伝統的な民衆蜂起の形式に則って行われ、民衆が能動的に始めた運動であったことを明確にすることを目的としている。</p>					
助成金を使用した成果に関する発表（インターネットに公表されている場合は URL を記載すること。）					
発表者氏名 (著者・講演者)	発表課題名 (著書名・演題)	発表学術誌名 (著書発行所・講演学会)	学術誌発行年月 (著書発行年月・講演年月)		